徳山	 I工業高等	専門学校	開講年度	開講年度 平成29年度 (2017年度)			 総合英語ⅡW				
科目基礎		<u> </u>	ארו באינויון	1 13023 1 15 (2	.017 (1/2)	授業科目					
科目番号	LIDTK	0064			科目区分	一般 / 必修	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
授業形態 講義					単位の種別と単位						
開設学科情報電子工					対象学年	3	1				
開設期		通年	T-7-17		週時間数	1					
教科書/教	**		数80 Pros and C	Cons: Discussing To	1		1-				
担当教員	(1/2)	池田幸恵		day 3 Controver.	5idi 155ue5						
	<b></b>	/BH +7	<u> </u>								
到達目標		- <del></del>	#### V+ #### / - #7 i	ました ナレナル のナ	フウキし、フキノ・	マルギーナフ					
		く早構成だっ	- 貝性・結果性に配	慮したまとまりのあ?	る又早として書く。	ことかできる。					
ルーブリ	ノック				1		1				
			理想的な到達レベルの目安標準的な到達レ				未到達レベルの目安				
評価項目1	_		自分の意見をまとまりのある文章   まとまりは欠くだとして書くことができる。   くことができる。			が自分の意見を書   自分の意見を書くことができ。					
学むの立	小辛口捶花	5ロレの!!!	•	77 (5.5)	CCD CE'S		0				
		目との関	引								
到達目標 /											
教育方法	5等	<u> </u>									
概要		2 年次に	学習し定着させた。	英語構文を自分の考え ミネのあるパラグラ	えや意見を表現する	るための力へと発展 D用者や判断を書す	展させる。まずは単文で表現できる 現できるようになることを目指す。				
							現できるようになることを目指す。 で、英語での自己表現力を身につけ				
授業の進め	か方・方法	ていく。	後期は、一貫性や終	うて、人子ツトバス 吉束性に注意してまる	とまりのある文章を	ョで味り必りこと と書く実践練習を約	こ、天品でのロロ衣坑刀で方につけ 繰り返す。				
注意点											
授業計画	<u> </u>	•									
	Ī	週	授業内容				週ごとの到達目標				
		1週	オリエンテーショ								
		2週	第1章			授業の進め方についての説明 形式主語を使った表現練習					
		3週	第2章			無生物主語を使った表現練習					
		4週	第3章			目的語と補語を使った表現練習					
	1stQ	5週	第4章			目的語+補語を使った表現練習					
		6週	第5章			代名詞を使った表現練習					
		7週	第6章			助動詞を使った表現練習					
		8週	中間試験			助動詞を使うた表現探音   第1~6章で練習した内容より出題					
前期		9週	答案返却・第7章			不定詞を使った表現練習					
		10週	第8章			動名詞を使った表現練習					
		11週	第9章			分詞を使った表現練習					
		12週	第10章			ガ詞を使うた衣苑 関係詞を使った表					
	2ndQ	13週	第11章			接続詞を使った表					
		14週	期末試験までのま	 レか		これまでの振り返り・まとめ					
		15週	期末試験			第7~11章で練習した内容より出題					
		16週	新木 <u>武</u> 級 答案返却			第7~11草 C 採首 した内谷より山越   答案の返却、解説					
				ティングの基本事項		構成・展開方法について理解し演習問題を解く。					
後期	3rdQ	1週	ハングラフ・フィ	アイノグの基本争項							
		2週	パラグラフ・ライ	ティングの基本事項	(/)	結果性・一負性の く。	・一貫性の重要性について理解し演習問題を解				
		3週	Unit 1			インターネット規制を賛成側から検討する					
		4週	Unit 1	:1		インターネット規制を反対側から検討する					
		5週		t 1のパラグラフ・ライティング			インターネット規制について自分の意見を書く				
		6週	Unit 2	it 2			を賛成側から検討する				
		7週	Unit 2				オリンピック開催を反対側から検討する				
		8週	Unit 2のパラグラ	フ・ライティング		オリンピック開催について自分の意見を書く					
	4thQ	9週	中間試験			Unit 1、2の内容から出題、英作文					
		10週	答案返却				答案の返却、解説				
		11週	Unit 7			安楽死の是非を検討					
		12週		nit 7のパラグラフ・ライティング			安楽死について自分の意見を書く				
		13週	Unit 9				飛び級の是非について検討				
		14週	Unit 9のパラグラフ・ライティング			飛び級について自分の意見を書く					
		15週	期末試験			Unit 7、9の内容から出題、英作文					
		16週	答案返却			答案の返却、解説					
モデル			)学習内容と到達								
分類	., <i>,</i> ,,,,,,,,,	分野	学習内容	I			到達レベル 授業週				
ルス		/J±J′	ナロバは	学習内容の到達目標   英語のつづりときとの関係を理解でき		<u></u>	1月達レバリル   投来週				
	1	土会 英語	英語運用の	英語のつづりと音との関係を理解でき							
基礎的能力	<sub>5</sub>  人文・ネ  科学		英語運用の基礎となる	英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声でき 英語の発音記号を見て、発音できる。 ロエバンかど、語と語の連結による音楽化を認識できる。			<u>2</u>				
1	1		知識								
	リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。 3										

語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読すること 3 できる。   文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読する 3 でとができる。   文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。   文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。   中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600話 3 中学校で既習の文法事項や構文を定着させるとともに、2600話 3 中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。   高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を 3 日常生活や身近な話題に関して、毎分100話程度の速度ではっき りとした著旨で話された内容から必要な情報を関さとることができる。   日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 3 現を用いて英語で話すことができる。   日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 3 現を用いて英語で話すことができる。   日常生活や身近な活題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 3 の分100話程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。   自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、2 2 できる。   第分120話程度の簡単な文章を書くことができる。   第分120話程度の簡単な文章を書くことができる。   自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、2 2    評価割合    「試験 発表 相互評価 態度 ボートフォリオ その他 合計   総合評価割合 80 10 0 0 0 10 100    事門的能力 80 10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0											
ことができる。   立における基本的な区切りを理解し、音読することができる。   立における基本的な区切りを理解し、音読することができる。   立をがたに習得する。   中学校で既習の200話程度の語彙を定着させるともに、2600話   3   中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。   高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を   3   1   1   1   1   1   1   1   1   1					語・句・文における ができる。	る基本的な強勢を正	しく理解し、音読	すること	3		
中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語 3						シイントネーション	を正しく理解し、	音読する	3		
程度の語彙を新たに習得する。 3 中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。 3 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、2 2 回話程度の簡単な文章を書くことができる。 自分を身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、2 2 回話程度の簡単な文章を書くことができる。 自分を身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、2 2 回話程度の簡単な文章を書くことができる。 自分を身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、2 2 回話程度の簡単な文章を書くことができる。 3 回話程度の簡単な文章を書くことができる。 3 回話程度の簡単な文章を書くことができる。 3 回話程度の簡単な文章を書くことができる。 4 回話程度の簡単な文章を書くことができる。 3 回話程度の簡単な文章を書くことができる。 3 回話程度の簡単な文章を書くことができる。 4 回述を書きる。 4 回述を書きるる。 4 回述を書きる。 4 回述を含さる。 4 回					文における基本的な	₿区切りを理解し、	音読することがで	きる。	3		
高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を 3 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっき 2 きる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 現を用いて英語で話すことができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 現を用いて英語で話すことができる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことが できる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことが できる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことが 2 毎分120語程度の譲単な文章を書くことができる。 自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、 2 評価割合 試験 発表 相互評価 態度 ポートフォリオ その他 合計総合評価割合 80 10 0 0 10 100 100 基礎的能力 80 10 0 0 0 0 10 100 100 専門的能力 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0							着させるとともに、	2600語	3		
図得する。					中学校で既習の文法	は事項や構文を定着	<b>i</b> させる。		3		
対している   10 とした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。									3		
東語運用能力の基礎固め毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。 自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、 					りとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることがで				2		
大の基礎  対の基礎  対の基礎  対の基礎  対の基礎  対の基礎  対してきる。					日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。				3		
日かけられていて、   2   日かけられている。   日がりのはいる。   日がりのはいる。   日がりのはいる。   日がりのはいる。   日がりのはないる。   日がりのはないる。   日が				力の基礎固					3		
把握できる。     1       自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。       評価割合       試験     発表     相互評価     態度     ポートフォリオ その他     合計       総合評価割合     80     10     0     0     10     100       基礎的能力     80     10     0     0     0     10     100       専門的能力     0     0     0     0     0     0     0									2		
評価割合     記験     発表     相互評価     態度     ポートフォリオ     その他     合計       総合評価割合     80     10     0     0     10     100       基礎的能力     80     10     0     0     10     100       専門的能力     0     0     0     0     0     0									3		
試験 発表 相互評価 態度 ポートフォリオ その他 合計 総合評価割合 80 10 0 0 0 10 100 100									2		
総合評価割合     80     10     0     0     10     100       基礎的能力     80     10     0     0     0     10     100       専門的能力     0     0     0     0     0     0     0											
基礎的能力     80     10     0     0     0     10     100       専門的能力     0     0     0     0     0     0		試験	発	表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他		合計	
専門的能力 0 0 0 0 0 0	総合評価割合	80	10	)	0	0	0	10		100	
	基礎的能力	80			0	0	0	10	100		
分野横断的能力     0     0     0     0     0     0	専門的能力	0 0			0	0	0	0	0		
	分野横断的能力	分野横断的能力 0			0	0	0	0			